

# 新年のごあいさつ

## 町利民福

### 阿久比町議会 議長 竹内松彦



新年明けましておめでとござい  
ます。

希望に満ちた新珠の年を迎えるに  
あたり、阿久比町民皆々様のご多幸・  
ご健勝と、本年ますます飛躍できる  
年でありますよう心からお祈り申し  
上げます。

旧年中は町政に、議会に多くお寄  
せいただきましたご指導、ご協力で  
深く感謝申し上げます。本年も変わ  
らぬご指導ご支援を賜りますよう心  
よりお願い申し上げます。

思い起こせば昨年一年間、大変悲  
惨な事件が多く発生し、悲しい一年  
でした。小さな子どもを道連れにし  
た殺人事件、また、姉弟での殺人、  
そして最も悪質な飲酒運転による引  
き逃げ事件で幼い三人の命が亡くな

るといふ悲しい出来事もありました。  
老後の生活を支える年金記録問題、  
拳銃を使った非道な殺人事件。食の  
安全を脅かす相次ぐ偽装事件など、  
数え切れないほどの事件が起こって  
います。

愛知県では昨年も交通死亡事故が  
多発しました。しかし阿久比町では  
皆様の努力のおかげで交通死亡事故  
ゼロという大変喜ばしい年でもあり  
ました。新しい年を迎え、町民の皆  
様のこれから一年、一層のご努力と  
ご協力を賜りますようお願い申し上  
げます。

阿久比町では本年も「安全・安心・  
安定したまちづくり」に向け、行政・  
議会ともに力を注いでまいります。  
いつ起きても不思議でない東海・

東南海地震、年々発生の確率が高く  
なってくる「巨大地震」に対する備  
えを着々と進めなくてはなりません。  
そのために小学校・中学校・保育園  
の校舎、園舎の耐震診断を行い、耐  
震工事を進め、子どもたちの安全を  
第一に考えていきます。

子どもたちが安心して通学できる  
道路の拡充と、環境づくりに力を注  
いでまいります。また、高齢化が  
進む中、お年寄りに「より優しい」  
道路づくりを進めて行かなければな  
りません。買い物、病院通い、役場  
への行き帰りの足も考えていきたい  
と思います。

そのためには、自主財源の確保が  
必要不可欠であります。土地の有効  
活用と企業誘致を積極的に進めてま  
いりたいと思います。

現在、中部工業団地では、松尾製  
作所の工場建設が完了し、操業を待  
つばかりとなっております。草木工業  
団地では、デンソーウエーブの本社  
機能のオフィスビルが今年着工され  
ます。

阿久比町は、まだまだ自然が多く、  
人が住むには大変環境の良い町だと思  
います。「住んで良かった、住んで  
みたい町」そんな活気のあるまちづ  
くりを考えながら、開発すべき所は  
開発し、残すべき所は自然を残して  
災害に強い安全なまちづくりに、そ  
して、安定したまちづくりに努力し  
てまいります。

次に、地産・地消を念頭におき、

体に優しい、無農薬、無化学肥料で  
育てた農産物、誰もが安心して口の  
中に入れられるようなものを作り、  
広く町内外の人たちに食していただ  
き、若い人たちが楽しんで農業に従  
事し、生活できるような販売所や、  
販売網の拡充に努めてまいりたいと  
思います。町内には、多くの農業耕  
作地があります。もっともっと農業  
を見直し、ブランド化を目指し、協  
力できるような体制づくりにも目を  
向けていきたいと思えます。

次世代の阿久比町を担う子どもた  
ちのために、幼保小中一貫教育が進  
められており、昨年十一月に第一回  
の実践発表会が行われました。乳幼  
児から中学卒業まで一貫した教育を  
進めていくものです。教育は学校だ  
けでできるものではありません。家  
庭、地域、学校、行政が一体となら  
なければ、良い子どもたちが育たな  
いともいわれています。隣のおじさ  
ん、おばさんまで一緒になつて子ど  
もたちを育み、親しみを持つて接し  
てこそ、より高い成果が望めるもの  
だと思えます。議会といたしまして  
も、側面から大いに応援させていた  
だきます。

「町利民福」。町の利益と町民の幸  
福を考え、「一日一善」を心の隅に置  
き、この言葉を忘れずに竹内町政と  
ともに、皆様のご要望に心えられるよ  
う取り組んでまいりますことを約束  
し、年頭のごあいさつといたします。